

『まち・ひと・しごと創生総合戦略』
将来のまち 市民アンケート調査結果
(概要)

1.調査の概要

1.1 調査の目的

新たな『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定にあたって、市民が日常感じている生活環境や出産・子育て環境等に対する課題などを把握し、市民のニーズを踏まえた検討・戦略立案を進めていくことを目的とする。

1.2 調査の概要

調査対象：守谷市内にお住まいの18歳以上の方の中から3,000人を無作為抽出

調査方法：郵送配布回収方式

調査時期：令和3年2月

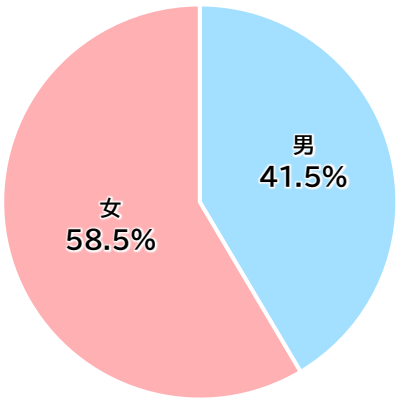
調査内容：現在のお住まいの状況や生活行動場所、“住まう”場に関すること、出産・子育てに関すること、働き方に関すること、戦略分野別の展開施策（行政の活動）の現在の満足度、今後の重要度、守谷市が目指すべき姿 など

回答者数：1,291票（回答率43.0%）

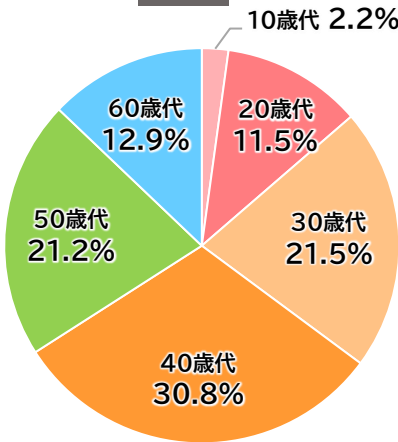
2.調査の結果

2.1 回答者の属性

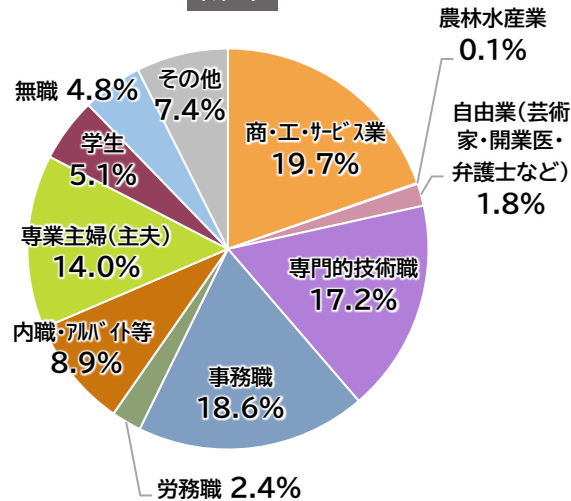
性別



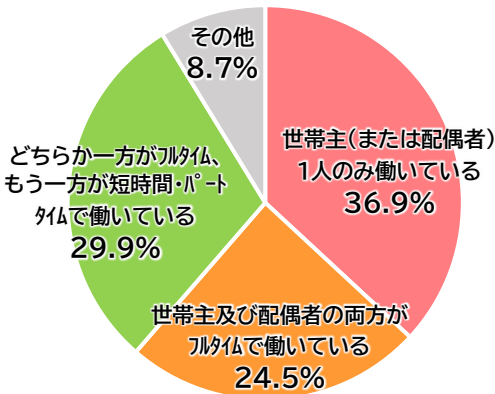
年齢



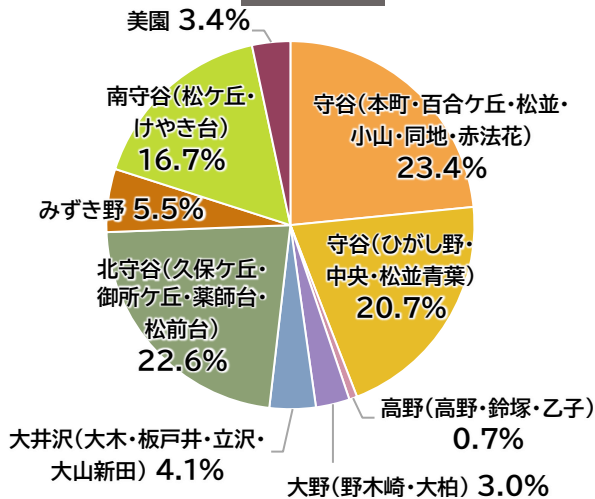
職業



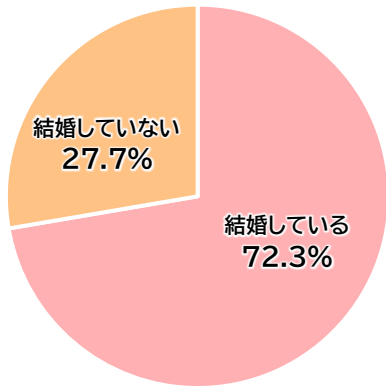
世帯の働き方



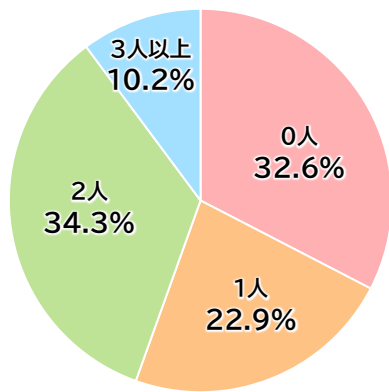
居住地区



結婚



子どもの人数

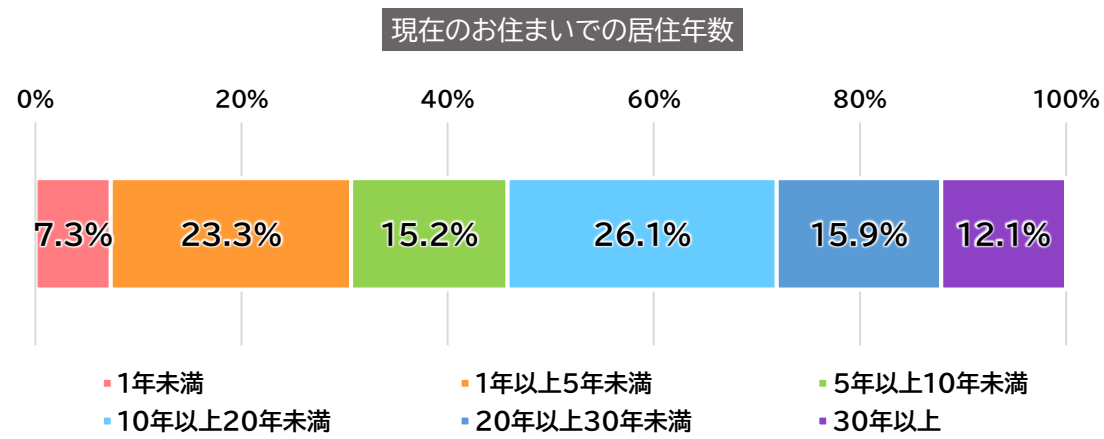
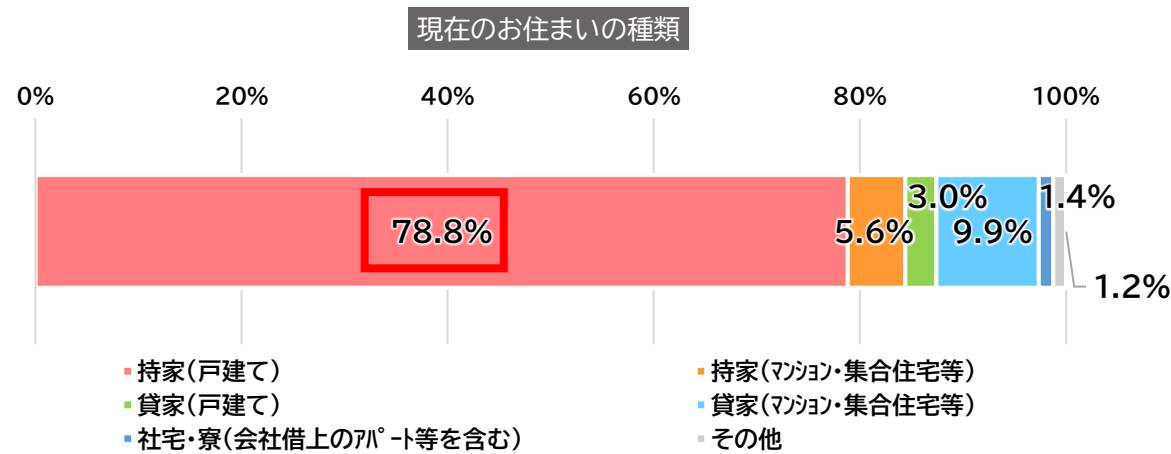


2.調査の結果

2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等

(1) 現在のお住いの種類と居住年数

- ・ 約8割が「持ち家（戸建）」と回答している。
- ・ 現在のお住いでの居住年数は、5年未満が約3割、10年以上が5割を超えている。

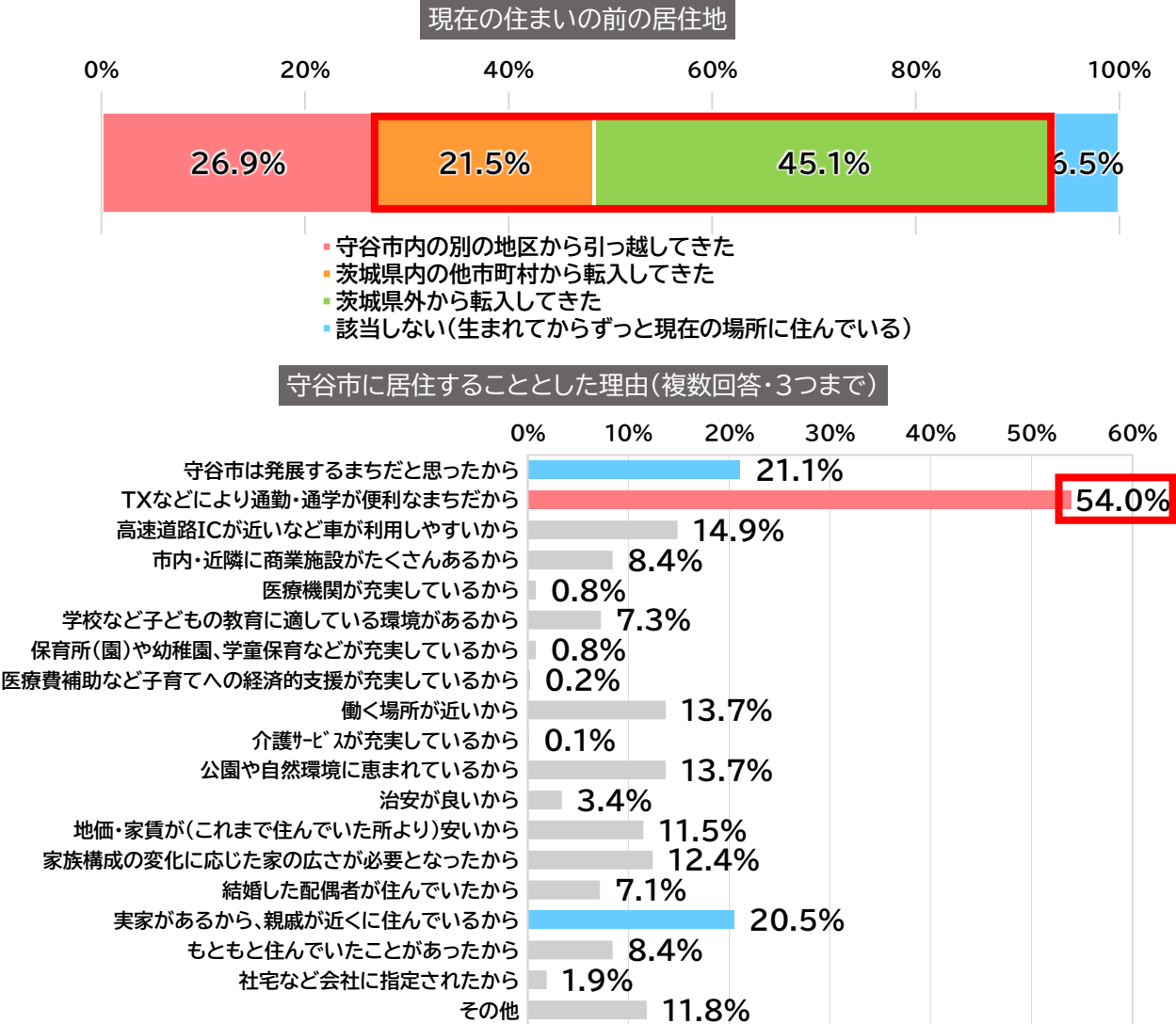


2.調査の結果

2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等

(2) 現在の住まいの前の居住地と守谷市に居住することとした理由

- ・ 6割以上が「県内外からの転入」、約3割が「市内からの引越」と回答している。
- ・ 居住することとした理由は、5割以上が「TXなどにより通勤・通学が便利なまちだから」、約2割が「守谷市は発展するまちだと思ったから」「実家があるから、親戚が近くに住んでいるから」と回答している。



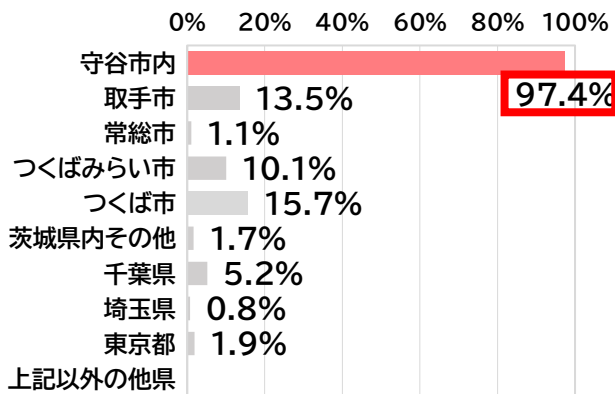
2.調査の結果

2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等

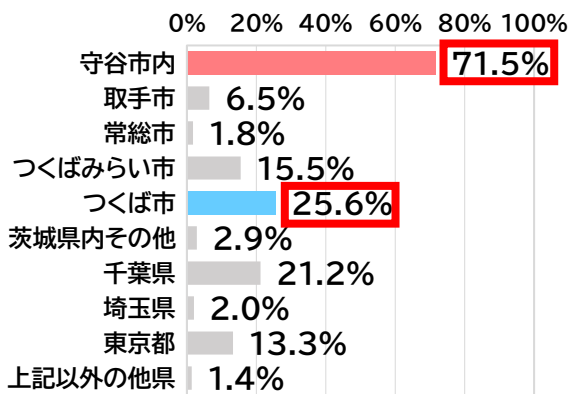
(3) 生活行動においてよく行く場所（複数回答・それぞれ上限2つ）

・ 守谷市内での「買い物」「カフェ・外出」「学校・習い事」の割合が高く、次いで、つくば市内での「カフェ・外食」「衣料・家具・家電」の割合が高くなっている。

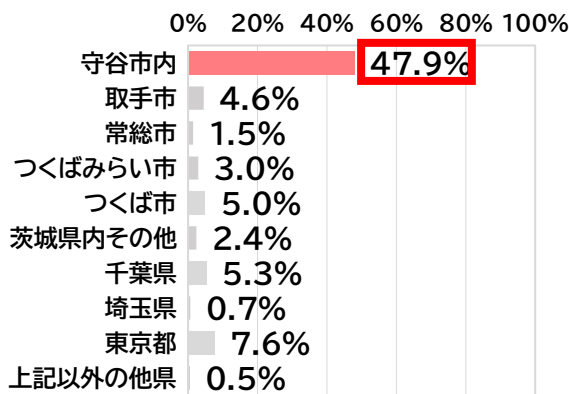
買い物①(食料品・日用品)



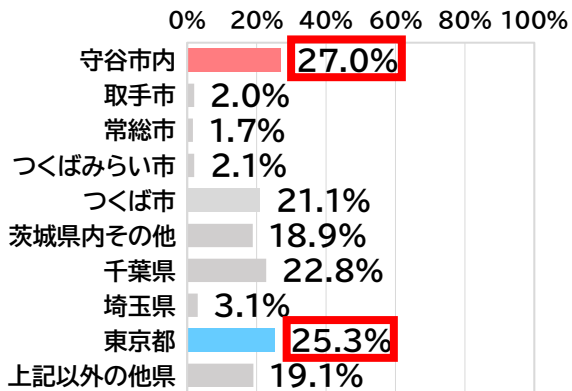
買い物②(衣料・家具・家電)



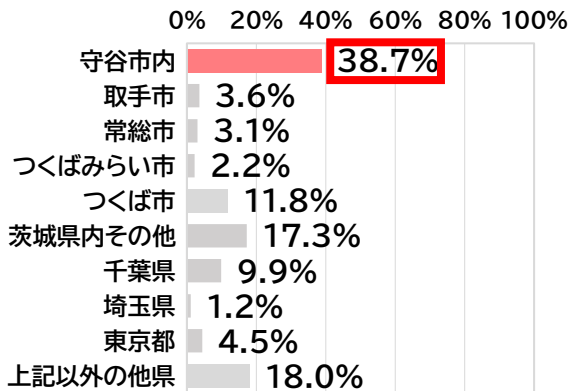
学校・習い事



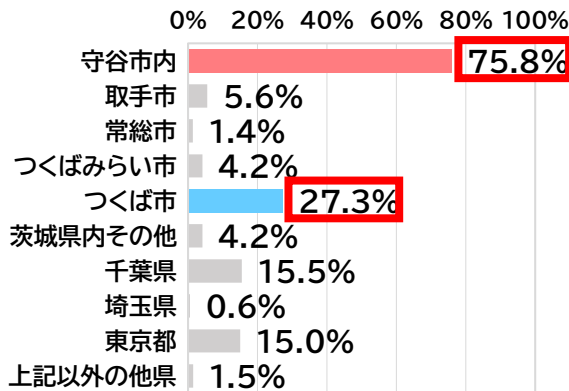
娯楽・レジャー



スポーツ・アウトドア



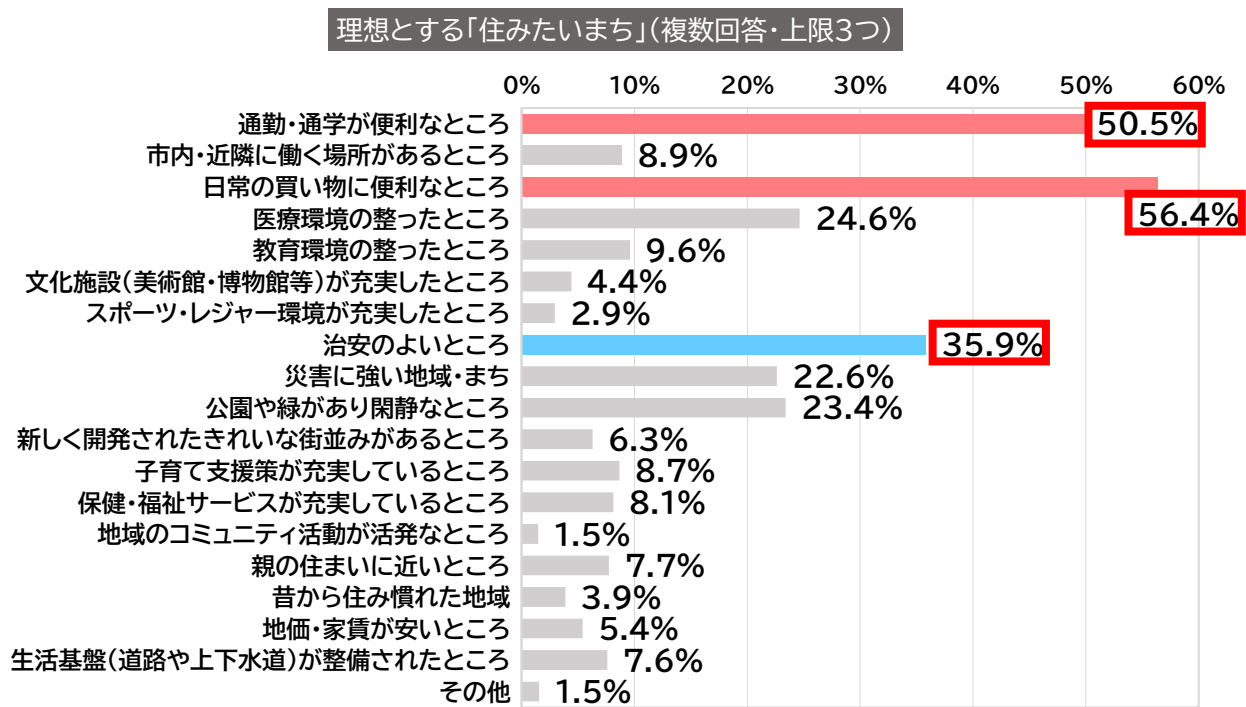
カフェ・外食



2.調査の結果

2.3 “住まう”場に関すること (1) 理想とする「住みたいまち」

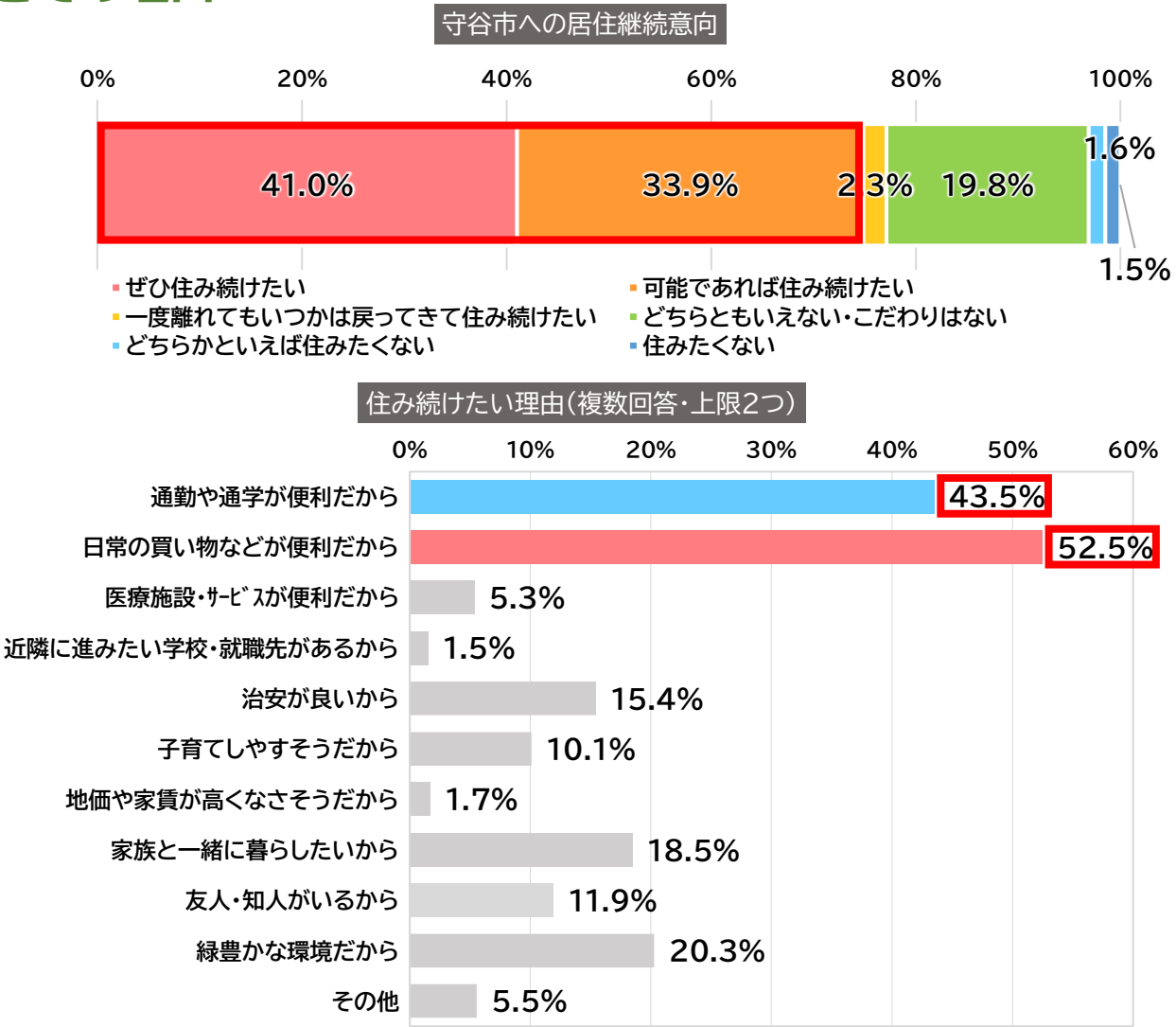
・理想とする住みたいまちは、5割以上が「日常の買い物に便利なところ」、約5割が「通勤・通学が便利なところ」、3割以上が「治安のよいところ」と回答している。



2.調査の結果

2.3 “住まう”場に関すること (2) 守谷市での居留意向とその理由

- ・ 守谷市への居住継続意向では、**7割以上が「ぜひ住み続けたい」「可能であれば住み続けたい」と回答している。**
- ・ 住み続けたい理由としては、**約5割が「日常の買い物などが便利だから」、4割以上が「通勤や通学が便利だから」と回答している。**

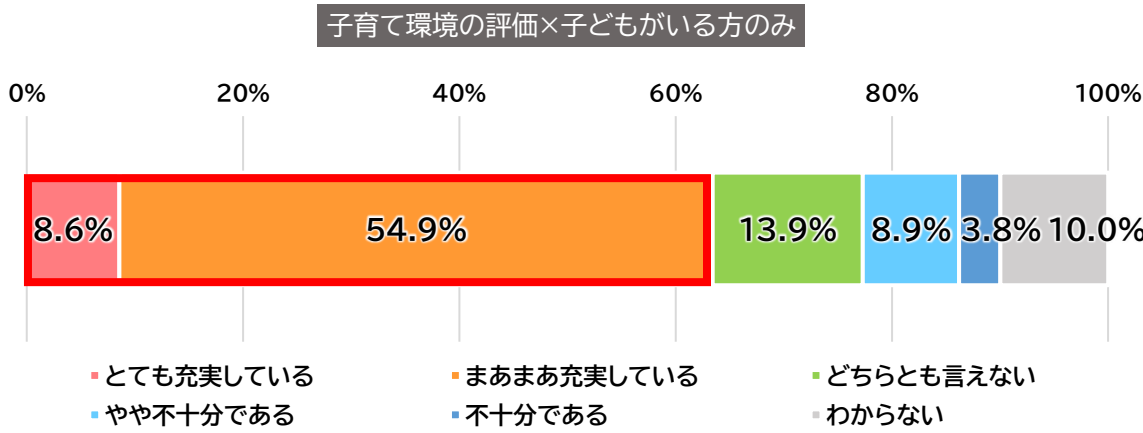
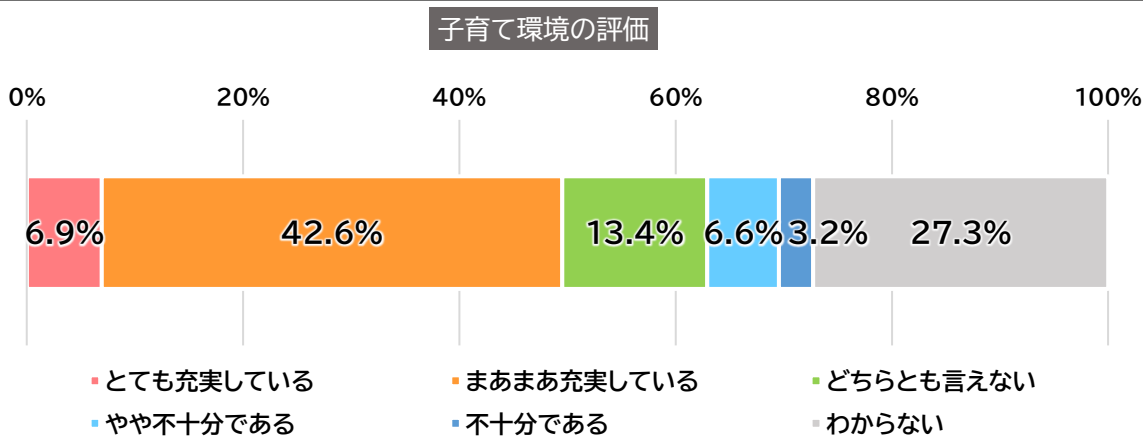


2.調査の結果

2.4 出産や子育てに関すること

(1) 守谷市の子育て環境の評価

・ 守谷市の子育て環境の評価では、子どもがいる方は、**6割以上が「とても充実している」「まあまあ充実している」と回答している。**

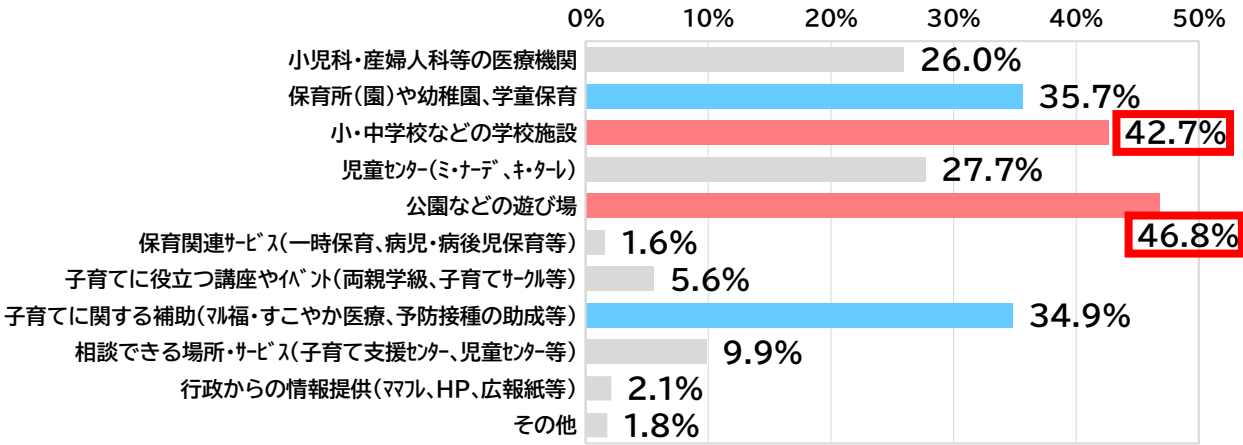


2.調査の結果

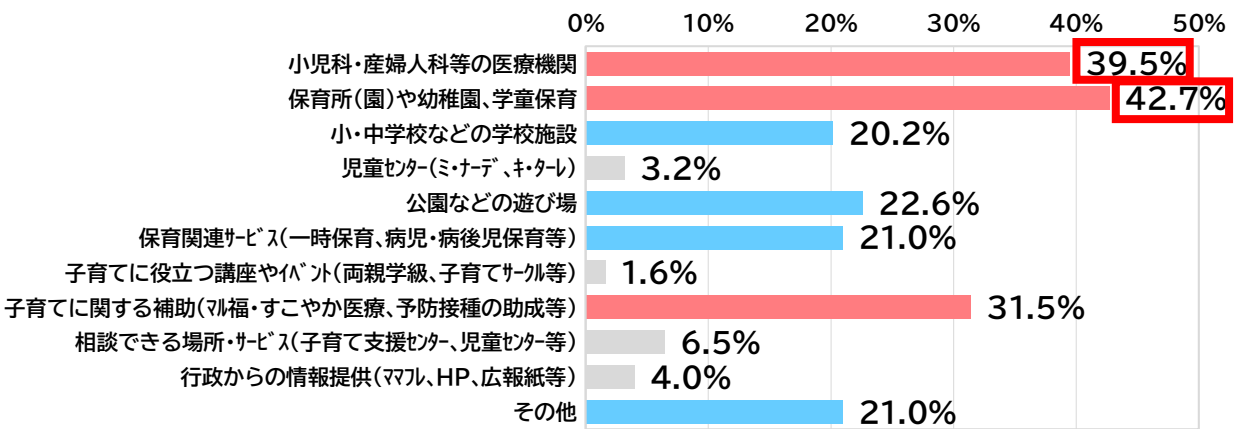
2.4 出産や子育てに関すること (2) 特に充実・不十分な子育て環境・サービス

- ・ 守谷市で特に充実していると思う子育て環境・サービスは、「公園などの遊び場」「小・中学校などの学校施設」の回答が多くなっている。
- ・ 一方で、特に不十分だと思う子育て環境・サービスでは「保育所(園)や幼稚園、学童保育」「小児科・産婦人科等の医療機関」の回答が多くなっている。

特に充実していると思う子育て環境・サービス×子育て環境の評価が「とても充実している」「まあまあ充実している」(複数回答・3つまで)



特に不十分だと思う子育て環境・サービス×子育て環境の評価が「やや不十分である」「不十分である」(複数回答・3つまで)

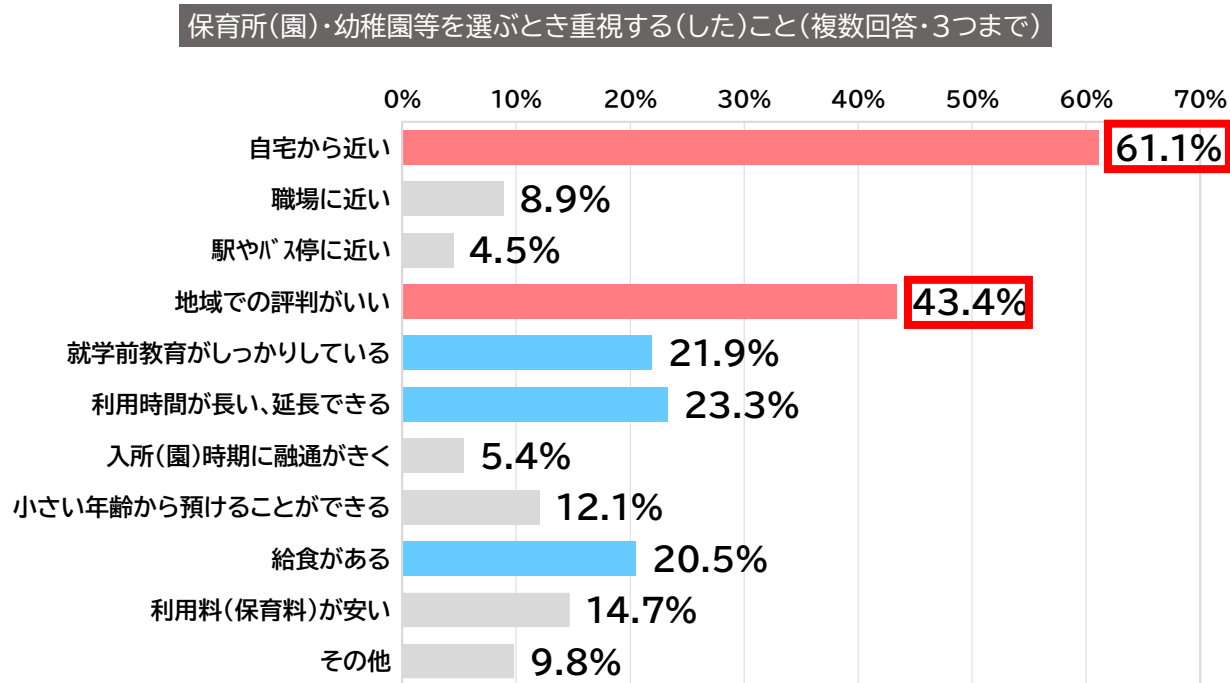


2.調査の結果

2.4 出産や子育てに関すること

(3) 保育所（園）・幼稚園等を選ぶとき重視する（した）点

・ 保育所（園）・幼稚園等を選ぶとき重視する（した）点は、約6割が「自宅から近い」、約4割が「地域での評判がいい」と回答している。

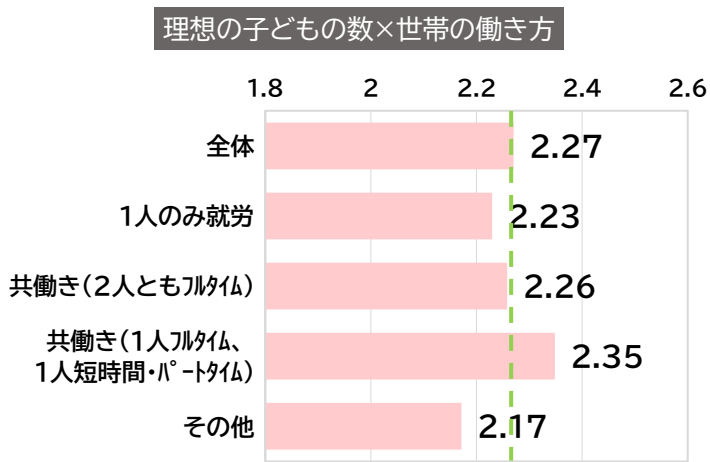
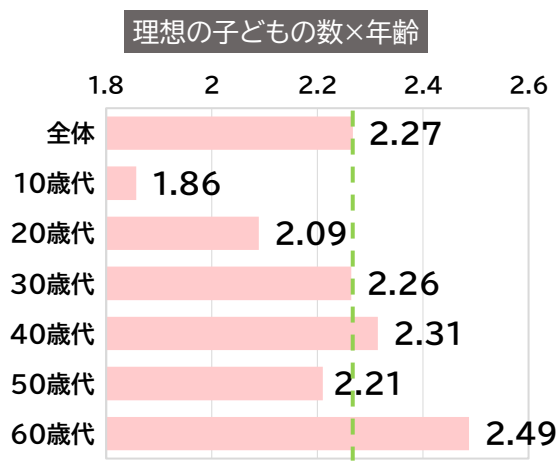
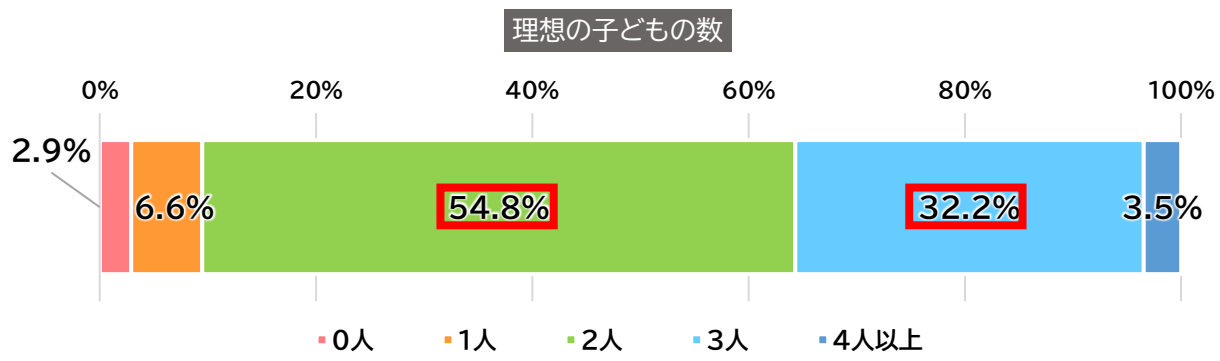


2.調査の結果

2.4 出産や子育てに関すること

(4) 理想とする子どもの数

- ・理想の子ども数では、**5割以上が「2人」、約3割が「3人」と回答しており、全体平均では2.27人となっている。**
- ・年齢別に見ると、**若年層になるほど平均が下がる傾向**となっている。



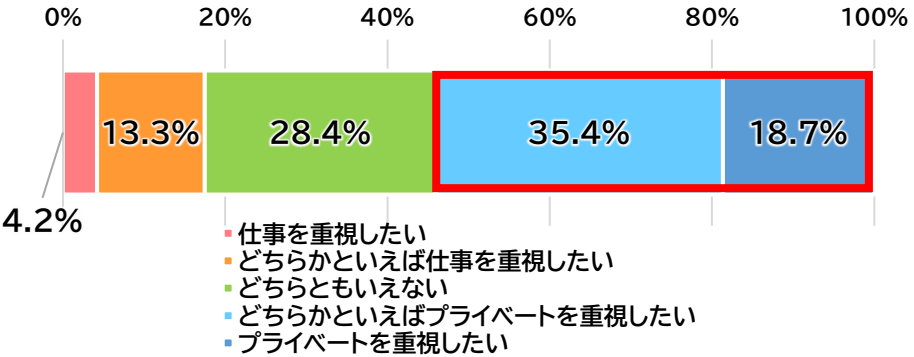
2.調査の結果

2.5 働き方に関すること

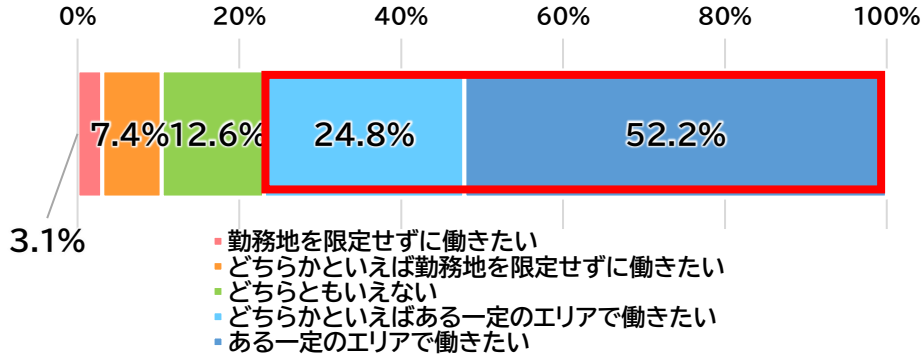
(1) 理想とする働き方

・理想とする働き方では、一概には評価できないものの「仕事よりはプライベートを重視したい」「やりがいよりは収入を重視したい」「勤務地を限定せずに働くよりはある一定のエリアで働きたい」「人が多く便利な都会より緑豊かな環境で働きたい」と回答されている割合が高い。

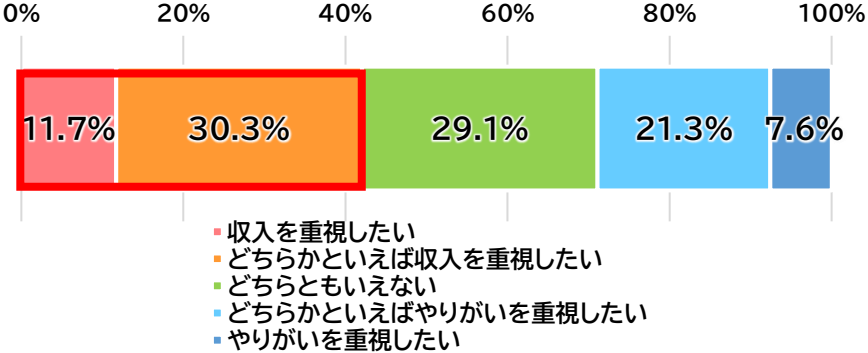
仕事を重視したい⇔プライベートを重視したい



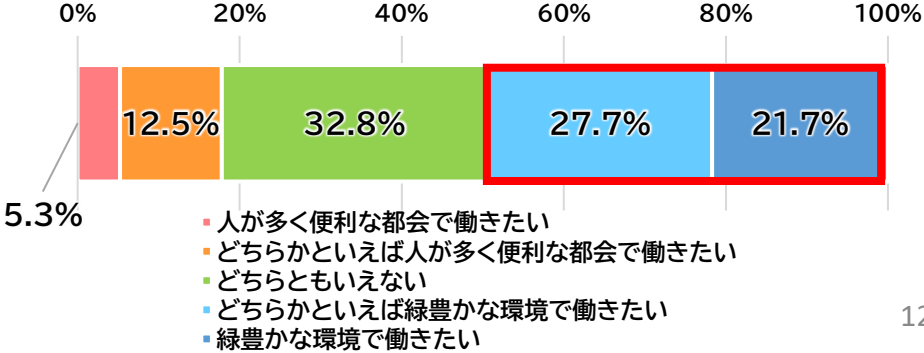
勤務地を限定せずに働きたい×ある一定エリアで働きたい



収入を重視したい⇔やりがいを重視したい



人が多く便利な都会で働きたい×緑豊かな環境で働きたい

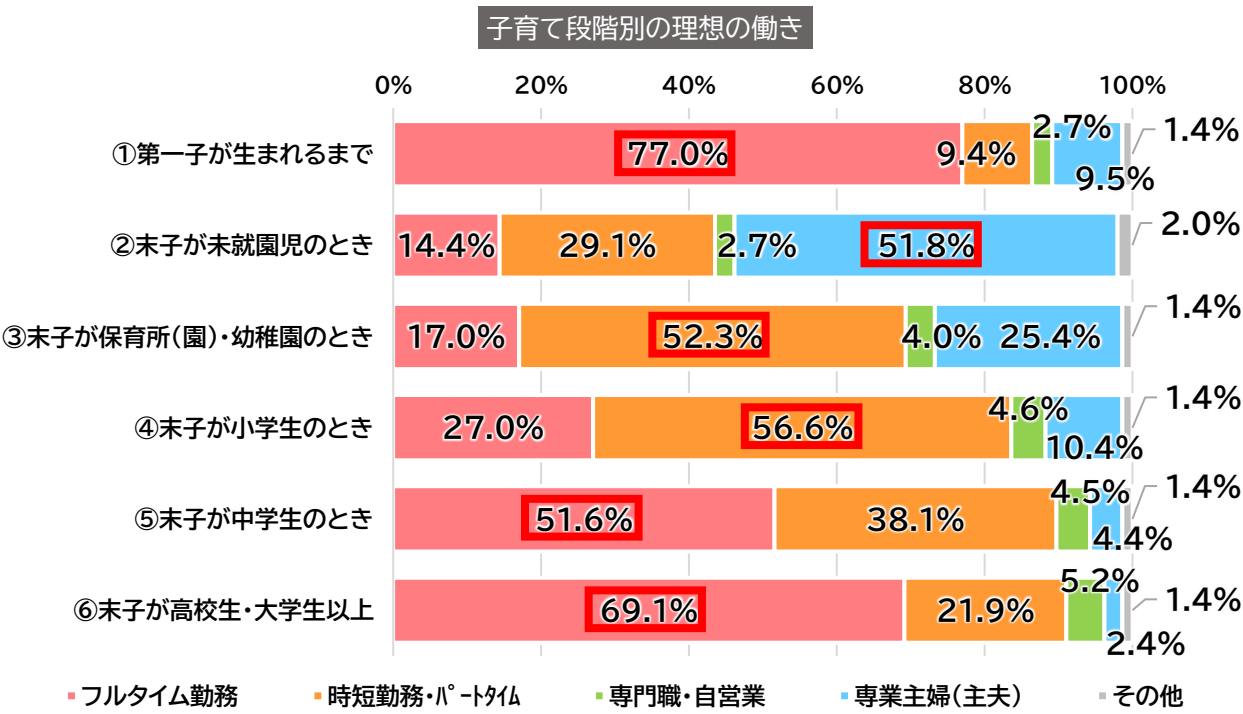


2.調査の結果

2.5 働き方に関すること

(2) 子育て段階別の理想の働き方

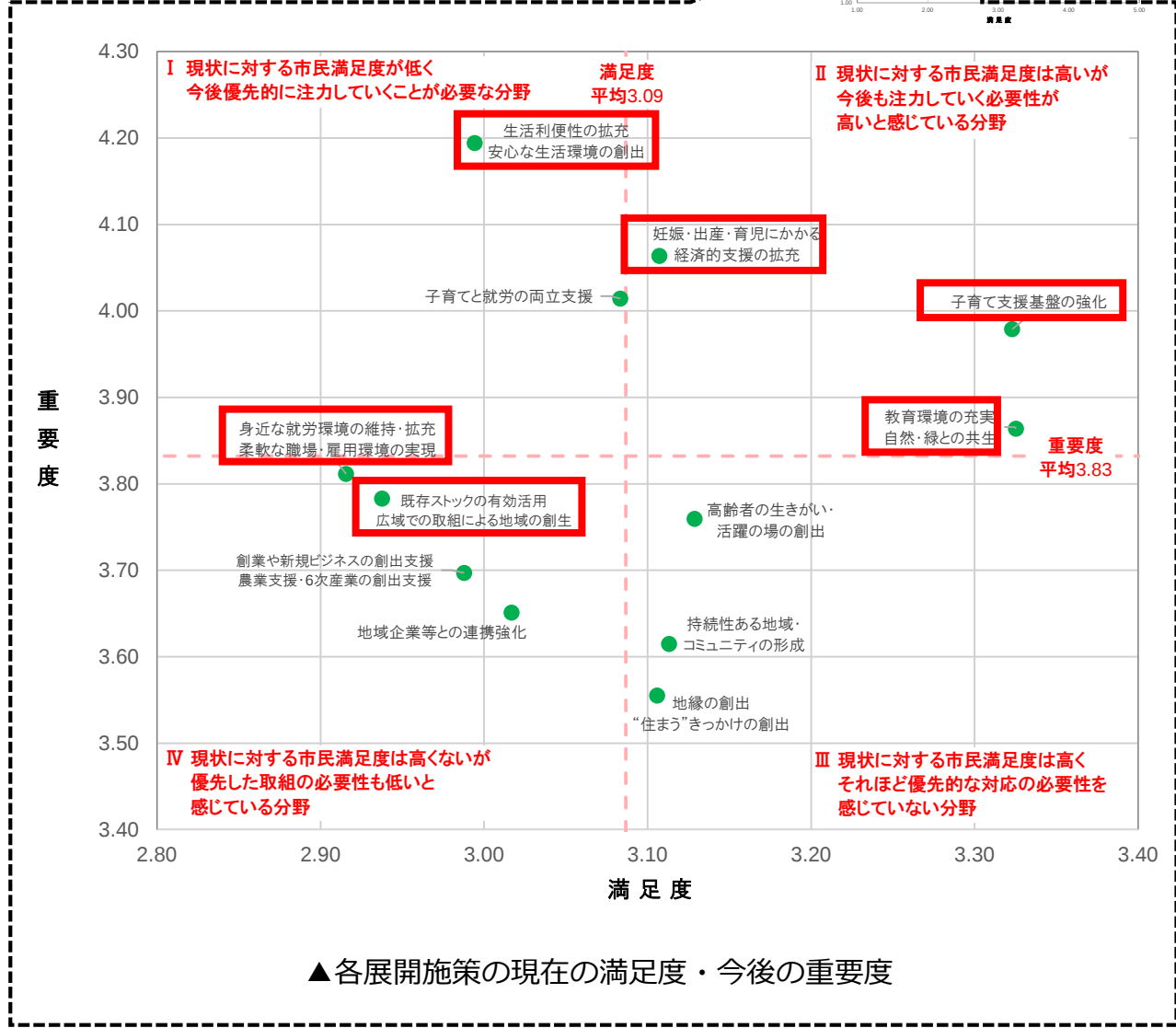
- ・ 子育て段階別の理想の働き方では、**第一子が生まれるまで、末子が高校生・大学生以上で「フルタイム勤務」を希望**する割合が高い。
- ・ 末子が未就園児のときは約5割が「専業主婦（主夫）」と回答されているが、年齢が上がってくるにつれて「時短勤務・パートタイム」の希望割合が高まり、末子が中学生のときには「フルタイム勤務」が「時短勤務・パートタイム」を上回る傾向となっている。



2.調査の結果

2.6 各展開施策の現在の満足度・今後の重要度

- ・ 満足度の高い評価項目としては、「**教育環境の充実、自然・緑との共生**」「**子育て支援基盤の強化**」などが挙げられる。
- ・ 一方で満足度の低い評価項目としては、「**身近な就労環境の維持・拡充、柔軟な職場・雇用環境の実現**」「**既存ストックの有効活用、広域での取組による地域の創生**」などが挙げられる。
- ・ 重要度が高いと市民が感じている項目として、「**生活利便性の拡充、安心な生活環境の創出**」「**妊娠・出産・育児にかかる経済的支援の拡充**」などが挙げられる。



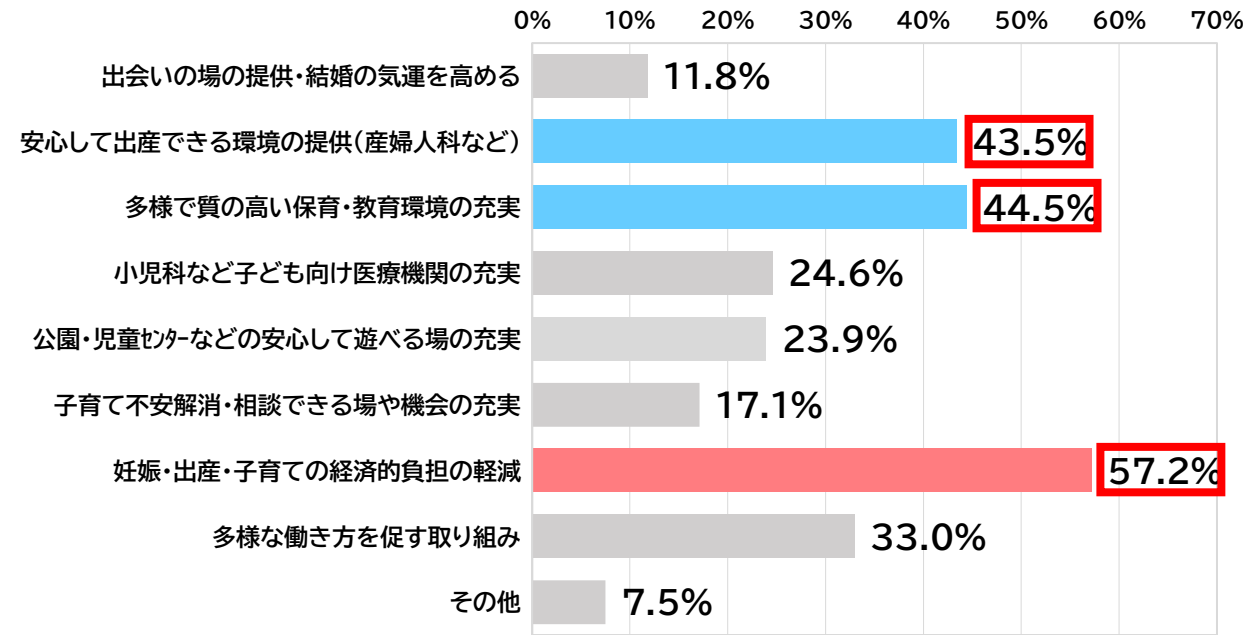
2.調査の結果

2.7 守谷市が目指すべき姿

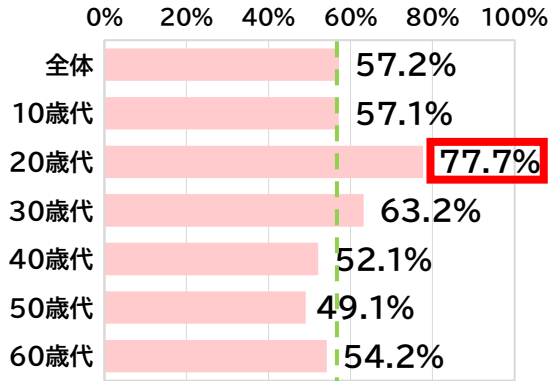
(1) 人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組み

- ・ 人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組みでは、約6割が「妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減」、4割以上が「多様で質の高い保育・教育環境の充実」「安心して出産できる環境の提供(産婦人科など)」と回答している。
- ・ 年齢別で見ると、20歳代のうち約8割が「妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減」と回答している。

人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組み(複数回答・3つまで)



妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減×年齢



2.調査の結果

2.7 守谷市が目指すべき姿 (2) 今後目指すべきまちづくりの方向性

・ 今後目指すべきまちづくりの方向性では、「**良好な生活環境の整備による勤労世代の転入増で人口の維持・増加を目指す**」、「**自然と調和した住環境整備により多様な世代の転入促進で人口の維持・増加を目指す**」「**人口の維持・増加にはこだわらず、暮らしの質の向上を目指す**」の順で回答が多くなっている。

